

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育実習Ⅲ事前事後指導		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<p>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</p> <p>保育実習Ⅰを終えた学生が、選択実習として取り組む保育実習Ⅲの事前事後指導を行う。保育実習Ⅰの評価と振り返りを踏まえ、保育実習Ⅲの目的、概要、意義、心構え、実習倫理等について理解する。選択しての福祉施設実習に臨む上での経験値を高め、実習計画書き上げるとともに、エピソード記録と育成記録の違いを学ぶ。その他、施設の種別特性を理解させながら必要な事前準備をする。</p>

<p>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</p> <p>授業形態(Class form) 演習</p> <p>授業の方法(Class method) 福祉施設実習を行うために必要な知識を、ディスカッションを取り入れた講義と視聴覚学習で情報提供し、ワークシートにアウトプットさせて定着化を図る。配属施設をイメージさせながら実習計画書その他の書類並びに実習後の報告書等の作成作業に取り組ませる。</p>
--

<p>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</p>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 仮登録アンケート	保育実習Ⅲ及び本授業の履修オリエンテーションを実施する。仮登録用紙に必要事項を記載させて回収する。	<input type="checkbox"/>
第2回	保育実習Ⅲの意義と目的及び実習方法 施設希望アンケート調査	保育実習Ⅲの意義と目的及び実習方法を説明するとともに、配属施設の希望アンケートを配布して必要事項を記入させて回収する。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育実習ⅠBの評価と振り返り 実習課題の確認	実習ノートや報告書、自己評価等を活用して各自の保育実習ⅠBを振り返らせながら、保育実習Ⅲの課題と目標を設定させる。	<input type="checkbox"/>
第4回	配属施設案の提示と調整	諸条件及び学生に記述させたアンケートに基づいて策定した配属施設1次案を発表して必要な修正と確認を行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	配属施設の確定 実習ノート配布と書類作成	配属施設の確定をしたうえで、実習施設の概況説明を行う。実習ノートを配布して氏名等を記入させ、個人票その他の書類を作成させる。	<input type="checkbox"/>
第6回	課題と抱負の1次提出	実習計画としての「課題と抱負」を記述させて1次提出させる。	<input type="checkbox"/>
第7回	課題と抱負の完成 事前提出書類完成	添削した各自の「課題と抱負」を修正・加筆させて完成させる。清書したものを提出させ、事前訪問提出書類一式を完成させる。	<input type="checkbox"/>
第8回	施設種別別の実習内容と方法 細菌検査について	配属施設施設種別による実習内容と方法に関する指導を行う。細菌検査の提出方法を確認する。	<input type="checkbox"/>
第9回	児童育成記録とエピソード記録の書き方	児童育成記録の書き方を指導し、エピソード記録との併用方法を理解させる。	<input type="checkbox"/>
第10回	事前訪問準備と連絡調整	事前訪問に関する指導後に配属施設毎に施設と事前訪問日の調整を図る。	<input type="checkbox"/>
第11回	実習計画書と事前訪問報告書	事前訪問報告書など実施後の提出書類を確認する。作成した「課題と抱負」に基づいて、保育実習Ⅲにおける実習計画書を作成させる。	<input type="checkbox"/>
第12回	実習直前指導と諸注意 実習後の取り組み方と提出書類	保育実習Ⅲに臨む直前の全体指導を実施し、実習後の取り組み方と提出書類について確認する。	<input type="checkbox"/>
第13回	実習直前グループ指導	配属施設グループ毎の直前指導を実施する。	<input type="checkbox"/>
第14回	事後指導①全体指導	実習終了後の報告会を行うとともに全体指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	事後指導②グループ指導	施設からの評価を踏まえて配属施設グループ毎の事後指導を実施する。	<input type="checkbox"/>

<p>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</p> <p>「課題と抱負」「実習計画書」その他書類の作成作業を行う。実習後には実習ノートを完成し、その他関係書類をまとめるとともに施設実習報告書の作成を行う。以上の事前・事後学習を合計30時間程度行うこと。</p>

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ワークシートや提出書類については添削して評価を行い、授業内で返却して解説し、改善を図らせる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	保育士になるための表現力、対人関係力、探求心、保育士資格に必須の基礎的な資質能力を身につけられたか。
	◇ 2018子ども発達DP2	児童福祉施設における養護・教育・保育に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。
	◇ 2018子ども発達DP3	現代の児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い実践力を習得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出物 50%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育士をめざす人の福祉施設実習〔第2版〕 愛知県保育実習連絡協議会・「福祉施設実習」編集委員会 編編集代表：伊藤貴啓・小川英彦	9784860153083
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		